

発事故で生活も心も壊された人々

ともに再び原発事故が
20キロ圏内の避難指
示が出るが、その指示線
の家の家と隣の家とを1
ロープで分けてしま
息子とその妻を避難さ
妻と牛たちを守って彼
にとどまるが、やがて
は強制避難と牛の殺処



▷10月20日より、東京・渋谷のユーロスペースでロードショー。他全国順次公開。



「役所から紹介された人
に取材するようなり方で
は、本当の声というのは出
を始めた。

らい、心に押し込めていた
感情がぶわっと出てきまし
た。それを受け止めただけ
でも、われわれの活動も少
しは役に立ったのではない
でしょうか。それは映画の
撮影とは少し違いますが、
現地の人々にとつて癒やし
となったのではないです

か、と尋ねると、それは大
げさですよ、と照れながら
も「われわれにとつて、『巡
礼』のような体験でした」
と付け加えた。
本作は、現実をベースに



▷10月20日より、東京ラストシネマ有楽町作
©2012 The Land of Hope Fil
の隣人は、
波の現場
で行った津
親を探し
に幽霊の
ような子ど
もたちに出会う。大谷直子
演じる主人公の妻が、かつ
ての満ち足りていた日々を
思い出させる浴衣姿で、夫
におんぶされて夕日を見る
シーンは圧巻だ。

も飢饉(ききん)
に襲われている。
干ばつの季節でもちゃんと
育てて飢えをしのいでくれた作物は絶やしてはいけない」という感謝の気持ちが種を残した。
今、在来作物が民族の文化遺

本

金丸弘美 著

幸福な田舎のつくりかた 地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす

継続は力なり。この本を読むと、つくづくそう思う。著者が各地で食のワークショップを始めたのが2000年。以来、試行錯誤を重ねながら、地域調査、食材のテキスト化、料理家との連携など、地域の味や豊かさを再確認する方法を編み出してきた。その中で出会い、現在もずっと付き合いを続けている多くの地域の中で、厳選した成功例を本書で紹介している。成功例はまねできるものではないが、どん底まで落ち込んで、はい上がってきたドラマに私たちは共感する。また、「品ぞろえが多い」「消費者との対話が多い」「自らのづくりと企画力を高めている」など成功例の共通点も抽出している。足で歩き、地域の人と話し、オリジナル商品を味わってきた著者ならではの目線である。だからこそ、「自分の地域を何とかしたいなら、自ら地域の良

自ら地域の良さを発見した成功例

を発見すること」という言葉に説得力がある。自分たちの問題は、自分たちの地域で解決できることなのだ。情報化社会といわれる昨今だが、インターネットで検索しても出てこない真実が現場にはいくらでもあるのだという。地域活性化や農業だけでなく、おそらく全てのことにも当てはまる、現場で学ぶ大切さをあらためて教えてくれる。

(則竹知子)



▽学芸出版社
▽1890円(本体1800円)

現代シリーズNo. 19
検証・日本の財政
一膨らむ政府赤字の構造分析一

第1章 「社会保障・税の一体改革」と消費税増税
第2章 東日本大震災と財政問題
第3章 租税と国債
第4章 自治体の役割と公務員攻撃

田中信孝 著
(元岩手県立大学教授)

A 5版 172ページ 1500円+税 送料別

東京都千代田区三崎町 労働大学 TEL 03(3230)9922
3-10-15富士ビル503 出版センター FAX 03(3230)9797

社会主義
10月号 定価600円(税込) 1年分12冊 8,040円
個人購読の場合は送料70円を負担して下さい。

田山英次◇東日本大震災から一年半
特集 産別大会から今後の課題を探る
松浦健二◇賃下げには大衆闘争の配置を
石崎浩◇「教育改革」で現場はどうなっているのか
山川省吾◇組織拡大を軸にJR内に国労運動を
江川藪沢◇誰が、どう支える三千万人超高齢者
角田政志◇福島教育現場からの告発
近江守◇二〇一二年働かぬ退職手当引き下げ
伊藤修◇二〇一二年「経済財政白書」評注
大槻重信◇中朝ロ三国を敵視する「防衛白書」
平地一郎◇欧州の財政・金融危機と政治・社会
村上武◇原発事故から「市民生活の再建」を求めて
多田雄平◇地域から新自由主義に対抗する岩を
東北プロック 原水禁◇国家補償で「復興」と「脱原発」の実現を
瀬戸宏◇批評 尖閣諸島問題を巡る日中間の軋轢
西沢清◇思い出すことも 私と社会主義協会(七)
中村謙◇シリーズ 古典を読む⑧

社会主義協会
千代田区飯田橋1-8-8 ASK402 田03(3221)7881
郵便振替00180-7-51038 中央労金市谷3531306

まなぶ
●働くものの月刊学習誌

10月号 450円 半年分 3108円
〒68円 1年分 6734円

特集 なくならないもの
「政治不信」の原因と人々の意識変化…杉田 敦
過労死は長時間労働が止まらない社会へのSOS…中澤 誠
経済成長が優先される社会の意味…北村 巖
科学に権威は必要なのか? …池内 了
市場経済での「共同体」の可能性…堀 芳枝
子どものいじめは歪んだ大人社会の鏡…武井 誠
健康が目標とされる社会で大切なこと…山浦康明

日本のうしろ 世界のうしろ
「欧州危機」はいま、どうなっているのか…北沢洋子
どうなるの!? 環境税とグリーン経済…足立治郎
偏狭な民族主義・愛国主義…津田公男

第2特集 『空想より科学へ』を読もう②…川村訓史

東京都千代田区三崎町 労働大学 TEL 03(3230)9922
3-10-15富士ビル503 出版センター FAX 03(3230)9797
http://www.3.plala.or.jp/rdsyupan/ rdsyupan@gmail.plala.or.jp